

成田市議会議員

別府ひろたか

会派／政友クラブ

所属委員会等／教育民生常任委員会・広報広聴委員会・議員団幹事

連絡先／〒286-0013 千葉県成田市美郷台3丁目15番地2 TEL・FAX 0476-24-4757 発行／令和6年3月



成田市の皆さんの～幸せへの架け橋～として

令和6年元旦に発生した能登半島地震において、被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、1日も早く復興されることを心よりお祈り致します。

さて、私自身のことになりますが、皆様のおかげで初当選をさせていただき、早いもので1年が経過しようとしています。議員としての様々な経験をさせていただき、とても充実した1年間を過ごすことができました。しかし、自分自身に不足している部分もあり、不満を持っているところは正直あります。この一年間を振り返り、自分自身の課題を明確にし、令和6年度はより活動的に取り組んでいく決意でいます。

今回は、私自身の市議会議員1年目の活動報告をさせていただきます。ご多忙とは思いますが、御一読していただければ幸いです。

成田市議会定例会 一般質問

「財を遺すは三流、名を遺すは二流、人を遺すは一流」という言葉があります。人はどんな人を育てていくかが最も大切なこととされています。つまり、人が生きていくためには、教育が最も重要な事になります。

人はこの世に生を受け、家庭教育から始まり、保育園や幼稚園、学校や職場、地域や友人など様々な方から学び、そして成長していきます。人格は1割が潜在的なもので、9割は創られていくものだといわれています。まさに今の自分は、教育により創られてきたものなのです。

今年度は、最も重要な教育の分野で一般質問をさせていただきました。その一部をご紹介します。

① 学校部活動の地域移行について

問

- ①本市の取り組みと進捗状況について
- ②活動場所について、どのように考えているのか
- ③保護者の経済的負担増が予想されるが、負担軽減策として考えていることは

答

関係者により、具体的な実施策と今後の方向性を検討し、9月より西中学校を活動場所として、休日に実施する柔道の地域クラブを設置し、その活動の中で効果や影響などを検証することとした。事業は、豊かな経験と実績を有する民間事業者に運

営を委託することとした。来年9月からは、各校1つの部活動をモデル事業として実施し、令和7年9月以降は、全ての部活動を対象に地域移行を進めていく。

活動場所については、モデル事業は基本的な活動場所を学校にし、将来的にも学校を含め、身近な活動場所が確保できるよう努めていく。

モデル事業の検証期間の2年間は、保護者の費用負担は考えていない。その後は習い事同様、費用の負担が必要となるが、できる限り低額の設定となることや、経済的に困窮する家庭への費用負担の支援について検討していく。

要望 学校部活動は教育の一環として行われ、学んだことを学校生活でいかし、教育活動が円滑に進むようにしてきた。また、将来の社会生活でもいかされるように、自ら課題を見つけ、課題克服のための工夫をし、成果を発揮できるようにする取り組みを行ってきた。地域クラブ活動になった際も、ぜひ継

続した取り組みをしていただきたい。

活動場所については、学校施設を利用することがのぞましいと思う。競技施設や文化施設は、一般の方の活動に制限をかける恐れがある。また、音楽活動についてはパート練習などを行うこともあり、いくつもの活動場所が必要となる。

学校を使用することで、保護者の費用負担を抑えることになる。保護者の費用負担は学校部活動の時とはさほど変わらないようにし、充実した活動ができるようお願いしたい。



② 教職員の働き方改革について

- 問**
- ①教職員の負担軽減のため、部活動の地域移行以外の取組は
 - ②業務内容のスリム化が必要と思うが、どのように考えているか
 - ③残業手当が支給されない超過勤務に対する職員への対応は

答 教職員の負担軽減については、各学校の学年始め休業日を確保し、年度当初、新年度に向けた準備のための休日出勤や時間外勤務を無く



すように努め、長期休業日の学校閉庁日も拡大した。他にも、留守番電話対応の設定、校務支援システム・指導者用デジタル教科書の導入など、教職員が効果的、効率的に業務を行えるように改善を図ってきた。今後も、業務のシステム化を推進し、本市で独自に配置している学校サポート教員や健康推進教員、小規模学校支援教員以外に、教職員の事務作業の軽減のためのスクール・サポート・スタッフの配置を拡充できるよう、県教育委員会に対し要望するなど、さらなる負担軽減に努めていく。

教育委員会から送付する文書等は、学校において効率よく文書分類が行えるようにしている。また、学校から教育委員会へ提出する多くの文書について、学校長による押印を省略し、文書を電子データにより提出することを可能とした。今後もデジタル化を進め、業務内容のスリム化を一層推進できるように努めていく。

教職員の業務に対する意識の改善を図るため、各学校にタイムレコーダーを設置し、各教職員が働き

方を見つめ直し、業務の効率化を進めることの大切さを認識できるよう、職場環境の改善を図ってきた。また、各学校では日々の勤務時間の状況を把握し、業務改善に努めるとともに、ノー残業デー、ノー部活動デーなどを設け、時間外勤務の縮減を図っている。今後も業務改善と教職員の意識改革を進めることで、これまでの働き方を見直し、風通しの良い職場で、子どもの成長を励みに感じ、教え育むことに生きがいを感じられるような教職員の育成に努めていく。

要望 教職員の働き方改革については、早急に改善をお願いします。教師は仕事を増やすことは得意だが、減らすことが苦手です。子供達のためではあるが、どこかで区切らなければ改善されない。業務内容の効率化だけでなく、精選することは必須の

課題と思う。理想ではあるが、人間の生活は、24時間の3分の1は仕事、3分の1はプライベート、3分の1は睡眠ということが本来の姿であると思う。そこに近づくことで教職員も様々な経験ができ、人としての魅力と仕事への意欲が増し、子供達が質の高い教育を受けられるようになると思う。また、教員のなり手不足解消へも繋がる。

現在は超過勤務をしながらも残業手当の支給はない。手当での支給ができないのであれば、長期休業期間に代休がとれるシステムを設けていただけたらと思う。

我々大人は、子供達の毎日が充実するようにしてあげなければならない。「部活動の地域移行」、「教職員の働き方改革」は大人の問題で、子供達の充実感が無くなる様なことがないようにお願いしたい。

③ 不登校支援について

- 問**
- ① 不登校児童生徒数の現状について
 - ② ふれあいる一む21の利用者数と体験・見学などの状況は
 - ③ ふれあいる一む21の施設環境について

答 不登校児童生徒数は、令和5年10月末で小学生82名、中学生146名である。令和4年度の同時期と比較すると、小学生9名、中学生10名の増加となっている。

ふれあいる一む21は、令和5年10月末時点での利用者数が、小学生2名、中学生20名。見学に訪れる児童生徒と保護者が毎月1組から3組程度で、このうち体験をしている児童生徒が5名いる。

現在の施設は築50年で老朽化が進んでいるが、立地条件の良さがある。不登校児童生徒の増加や個に応じた支援の必要性、支援内容の多様化により、利用者の人数増加が見込まれる。スペース不足などの課題を解決するために、令和6年度に耐力度調査を行い、改修あるいは改築による施設の拡張を進める予定である。

要望 不登校児童生徒の支援については、教職員やふれあいる一む21のスタッフ、訪問相談

員やソーシャルワーカーの方が、子ども達や保護者に対し丁寧に対応してくださり、増員は必要なものの人的環境は整っていると感じている。しかし、残念な点があり、不登校支援に重要な役割を担うふれあいる一む21の施設が不十分

である。老朽化の進行やスペース不足が生じ、これは大きな課題である。不登校の児童生徒が増加する中、学校復帰や社会的自立に向けて、ふれあいる一む21を利用してもらう価値は高く、早急に改築する必要がある。

不登校の子供達には、心が安らぐ暖かさを感じる環境が必要になる。建物が心身に与える影響は専門家の方が立証済みで、改築の際は、足を向けたくなる外観と心身に与える影響が一番良いとされる木造の建築物をお願いしたい。



④ 学校給食センターについて

問

- ①調理員の方への熱中症対策の現状は
- ②空調整備計画について

答

学校給食センター本所、玉造分所、下総分所及び大栄分所では、調理室にエアコンの設置がなく、こまめな水分・塩分補給、扇風機やスポットクーラーの利用等により熱中症予防に努めている。本年度はファン付き空調服を栄養士と給食調理員に支給するとともに、本所と玉造分所にスポットクーラーを追加導入し、調理時の環境改善を図った。給食調理員からは、労働環境の改善が図られたという意見も多数いただいた。熱中症対策の観点から給食調理員の労働環境の改善を図ることは大変重要と認識しており、今後も現場の意見を聞きながら必要な対策を講じていきたい。

空調の整備計画は、調理室にエアコンがない4施設においては、空調の整備計画は策定していない。施設の老朽化から今後に建て替えを予定しており、空調設備の整った親子方式による共同調理場等の整備を進めている。今後も本市の学校施設 長寿命化計画等と調整を図りながら、早期の整備完了を

指していく。

要望

給食センター本所と下総みどり学園の調理場の整備については、目処が立っているようだが、大栄みらい学園・向台小・神宮寺小の整備完了は明確ではない。玉造分所と大栄分所は、今後10年以上の利用が考えられる。空調のない調理場は、室内温度や湿度が食中毒を起こしやすい条件となっている。また、調理員や栄養士の健康を脅かす条件にもなっていることから、栄養士や調理員の方々も不安な気持ちで給食を作っていると感じる。早急に空調の整備にかかることを強く要望する。



視察・研修会

年間に行われる4回の定例会の合間に、様々な視察や研修会に参加させていただきました。内容の全てが有意義なもので、他の議員の方の市政に対する考えも聞くことができ、充実した時間を過ごすことができました。ここでは、視察・研修会等で行われた内容をご紹介します。

1 政友クラブ行政視察

栃木県大田原市：『学校跡地活用(旧蜂巢小学校)』『議会ICT』『国際医療福祉大学大田原キャンパスについて』
群馬県前橋市：『地域公共交通(マイタク:でまんど相乗りタクシー)』

2 教育民生常任委員会行政視察

大阪府守口市：『部活動の地域移行』『コミュニティスクール』
高石市：『重層的支援体制整備事業』

3 広報広聴委員会行政視察

神奈川県川崎市：『議会だより』『夏休み子ども議場見学会』『高校生議会』『キッズページ』など
秦野市：『議会の出前講座』『夏休み子ども議場見学会』『議会報告会』『議会だより』『市議会の周知』『議場の多目的利用』など

4 政友クラブ勉強会

第1回 『成田空港の歴史』成田空港建設時からの歴史、さらなる機能強化について
第2回 『成田市の財政状況と今後の見通しについて』

- 第3回 『本市のゴミ処理についての現状と課題、今後の周辺計画について』
成田富里いずみ清掃工場の現状・課題・今後の対応
成田市リサイクルプラザの現状・課題・今後の対応
新清掃工場関連付帯施設整備事業について
- 第4回 富里市『地域公共交通政策について』
富里市観光・交流拠点施設『末廣農場について』
- 第5回 『成田市総合計画「NARITAみらいプラン」について』
- 第6回 『成田市コミュニティバス視察』
『成田市の地域公共交通政策について』

5 議員団研修会

- 第1回 『議会のデジタル活用とDX』
第2回 『議員のためのハラスメント防止について』
第3回 『議会の政策形成と予算審議について』

別府ひろたかプロフィール

- 生まれ:昭和43年1月12日、成田市花崎町に生まれる。
- 学歴:成田幼稚園、加良部小学校、西中学校、成田高等学校、国際武道大学体育学部体育学科
- 職歴:元公立中学校保健体育科教諭(成田中学校・中台中学校 他)
- 趣味:佐原囃子演奏(花崎囃子連代表)
- 好きな言葉「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」

